

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330321066	乳児保育Ⅱ InfantCareⅡ	宇野 茂子			1	選択	2前期

科目の概要

DP2.3に記載されている保育及び教育現場での課題に対する見識を深め専門的な知識と技術を身につけ社会に貢献することができる保育士の育成を目指す科目である。保育所において「乳児保育」の必要性や重要性が高い今日、それにともなった保育の質の向上が求められていることを知り、乳児保育の制度や基礎をとおして必要性、重要性を理解する。また保育士の専門性が求められていることを知り、乳児期の心身の発達をとおして乳幼児保育の倫理性を学び、人々の子育ての面からの支援をするために必要な知識を得る。
★保育園、幼稚園での保育者としての実績経験があり、保育者としての専門的知識や技術を活かした演習を通して理解につなげていく。

学修内容	到達目標
① 3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について理解する。 ② 養護及び養育の一体性を踏まえ、3歳児未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について具体的に理解し、応用できる。 ③ 乳児保育における配慮の実際について知り、具体的に説明できるようにすることを目的とする。 ④ 上記1～3を踏まえ、乳児保育における計画の作成について学び、具体的に評価する。 ⑤ 乳児保育における職場と地域、国際社会のつながりを理解し、課題を解決する。	① 3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりの基本的な考え方について述べるようになる。理解する。 ② 養護及び養育の一体性を踏まえ、3歳児未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境について具体的に理解し、応用することができるようになる。 ③ 乳児保育における配慮の実際について具体的に理解し、専門的知識や技術を身に付けていくことができるようになる。知り、具体的に説明できるようにすることを目的とする。 ④ 上記1～3を踏まえ、乳児保育における計画の作成について学び、具体的に計画することができるようになる。 ⑤ 乳児保育における職場と地域、国際社会のつながりを理解し、問題解決に努力し貢献できるようになる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	自分の役割を明確にして課題に取り組み、新しく知ることに対して積極的学ぼうとすることができる。
	働きかけ力	自分の意見の異なる他者に対しても、積極的に語りかけ、対話をしていく努力をすることができる。
	実行力	乳児保育の課題を追求しようとしたり、保育者に必要な専門性について考えることができるようにする
考え抜く力	課題発見力	乳児の一日の保育計画を作成し、計画の実現に必要な今後の課題を見出していくことができる。
	計画力	課題等に計画的に取り組み、提出期限を守ることができる。
	創造力	講義で学んだことを実践で活かすためにどのようにするとよいか、と考えることが出来る
チームで働く力	発信力	自分の考えや意見、提案を積極的に発言することができる
	傾聴力	グループのメンバーの意見を聞き、話しやすい環境を作ることができるようにする
	柔軟性	グループ討論等において、他者の言動を受けとめ、他者を援助していくことができる。
	状況把握力	グループ討論において、自分の役割を判断し、的確に表現することができる。
	規律性	グループワークをとおして、集団活動が円滑に進むように、ルールを守り積極的に参加する
	ストレスコントロール力	感情的に意見が対立した場合も、自分の感情を抑制し、冷静になる方法をもって、討議することができる。

テキスト及び参考文献

テキスト：「演習で学ぶ乳児保育」小山朝子 編集 わかば社
 参考文献：「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」
 適宜資料を配布

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連:保育の内容・方法に関する科目であり、すでに学んだ乳児保育1を経て「乳児保育2」でこどもの発達をより一層深く学ぶ・内容については保育内容5領域の授業や保育原理・保育者論・保育所保育指針のねらいを参考とする。
 資格との関連・保育士

学修上の助言	受講生とのルール
乳児に対する理解を深め、学んだことを講義ノートにまとめながら復習をする。 1年次に学んだ事を生かしながら、保育者としての専門性を人の成長を援助する仕事としての理解を深める。 グループワークに積極的に参加して、他者から出た意見や自分の意見をまとめ学びを深める。 課題提出方法についてはクラスルームを使用することもあるので授業内の指示に従うこと。	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に授業に参加し、グループワークの際には円滑に行えるように努力する。 保育士の仕事は人の成長に大きく影響することを知り、自らが成長できるように課題を持って生活をする。 学内以外にも積極的に学んでいく姿勢を持つ。 携帯電話は必要とき以外は鞆にしまうようにする。 積極的なグループワーク、発表準備を行う

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	0	①		
			②		
			③		
			④		
			⑤		
	小テスト	0	①		
			②		
			③		
			④		
			⑤		
	レポート	50	①	✓	
			②	✓	
			③	✓	
			④	✓	
			⑤	✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	40	①	✓		
		②	✓		
		③	✓		
		④	✓		
		⑤	✓		
社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓		
		②	✓		
		③	✓		
		④	✓		
		⑤	✓		
総合評価割合		100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>達成目標①から⑤について実践できるとともに育児教育準備プロセスから発表までの一連の流れにおいて、社会人基礎力を発揮し自己評価・他者評価において全て満足できる評価が得られる。つまり乳児保育がすぐ実践できる能力に達していることが基準となる(総合評価80点以上90点未満)。A以上の能力を有しているもの(総合評価90点以上)をSとする。</p>	<p>達成目標①から⑤について実践できるとともに育児教育準備プロセスから発表までの一連の流れにおいて、社会人基礎力を発揮し自己評価・他者評価においてある程度満足できる評価が得られる。つまり乳児保育について一定の指導・研修後実践できる能力に達していることが基準となる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	乳児保育の意義について学ぶ、個々の子どもに応じた援助や受容的・応答的な関わり、子どもの主体性の尊重と自己の育ちについて理解する。	演習後	乳児保育の意義について学ぶ、個々の子どもに応じた援助や受容的・応答的な関わり、子どもの主体性の尊重と自己の育ちについて理解できる。	(復習) 乳児保育の意義についてノート及びテキストを復習し、まとめる。	120	主体性 創造力
2	0～3歳までの発育、発達と保育者の援助について学ぶ。	演習	0～3歳までの発育、発達と保育者の援助について理解し、概要を説明することができる。	(予習)テキスト該当ページを読み、発育、発達について理解できない点、疑問点等をまとめておく。 (復習) 0～3歳までの発育、発達と保育者の援助について、ノート及びテキストを復習し、まとめる。	120	主体性 課題発 見力
3	食事の援助と環境について学ぶ。	演習	食事の援助と環境について理解し、概要を説明することができる。	(予習)テキスト該当ページを読み、食事の援助と環境について理解できない点、疑問点等をまとめておく。 (復習) 食事の援助と環境について、ノート及びテキストを復習し、まとめる。	120	主体性 課題発 見力 創造力
4	排泄の援助と環境について学ぶ。	演習	排泄の援助と環境について理解し、概要を説明することができる。	(予習)テキスト該当ページを読み、排泄の援助と環境について理解できない点、疑問点等をまとめておく。 (復習) 排泄の援助と環境について、ノート及びテキストを復習し、まとめる。	120	主体性 課題発 見力 発信力
5	睡眠・休息の援助と環境について学ぶ。	演習	睡眠・休息の援助と環境について理解し、概要を説明することができる。	(予習)テキスト該当ページを読み、睡眠・休息の援助と環境について理解できない点、疑問点等をまとめておく。 (復習) 睡眠・休息の援助と環境について、ノート及びテキストを復習し、まとめる。	120	主体性 課題発 見力 発信力
6	着脱に関する援助と環境について学ぶ。	演習	着脱に関する援助と環境について理解し、概要を説明することができる。	(予習)テキスト該当ページを読み、着脱に関する援助と環境について理解できない点、疑問点等をまとめておく。 (復習) 着脱に関する援助と環境について、ノート及びテキストを復習し、まとめる。	120	主体性 課題発 見力 発信力
7	清潔に関する援助と環境について学ぶ。	演習	清潔に関する援助と環境について理解し、概要を説明することができる。	(予習)テキスト該当ページを読み、清潔に関する援助と環境について理解できない点、疑問点等をまとめておく。 (復習) 清潔に関する援助と環境について、ノート及びテキストを復習し、まとめる。	120	主体性 課題発 見力 発信力
8	乳児保育における健康と安全(事故防止、安全対策、子ども虐待、防災対策)、乳児保育を支える連携について学ぶ。	演習	乳児保育における健康と安全(事故防止、安全対策、子ども虐待、防災対策)、乳児保育を支える連携について理解し、概要を説明することができる。	(予習)テキスト該当ページを読み、健康と安全、乳児保育を支える連携について理解できない点、疑問点等をまとめておく。 (復習) 健康と安全、乳児保育を支える連携について、ノート及びテキストを復習し、まとめる。	120	主体性 課題発 見力 発信力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	0・1・2歳児の保育内容と遊びについて学ぶ。	演習	0・1・2歳児の保育内容と遊びについて理解し、概要を説明することができる。	(予習)テキスト該当ページを読み、0・1・2歳児の保育内容と遊びについて理解できない点、疑問点等をまとめておく。 (復習)0・1・2歳児の保育内容と遊びについて、ノート及びテキストを復習し、まとめる。	120	主体性 課題発見力 発信力
10	乳児保育における計画と評価について学ぶ。	演習	乳児保育における計画と評価について理解し、概要を説明することができる。	(予習)テキスト該当ページを読み、乳児保育における計画と評価について理解できない点、疑問点等をまとめておく。 (復習)乳児保育における計画と評価について、ノート及びテキストを復習し、まとめる。	120	主体性 課題発見力 発信力 規律性
11	グループごとに対象とする乳児の月齢を設定し、発達の特徴をまとめ、発達を促す遊びを考え、制作する。	演習 グループ討議 グループ制作	協働意識をもってグループ討議ができる。 他者の意見を堅強に受けとめる。 グループワークでの自己コントロール能力をもつことができる。	(予習)グループ討議に自分なりの意見を述べるように、遊び等を調べておく。	120	主体性 創造力
12	各グループごとに考察した乳児対象の遊びや環境設定について発表する。各グループの発表内容を振り返り、各自意見や感想を記述し提出する。	演習 グループ発表	各グループの発表に敬意をもち、傾聴することができる。 乳児の発達過程や援助の知識を基に発表内容について、自分なりの意見や感想を記述することができる。	(予習)グループ発表における自分の役割を確認し、発表方法等についてリハーサルしておく。	120	主体性 創造力
13	グループ発表を基に、乳児保育の内容や方法、環境構成を考え、一日の保育実習設定し、保育計画を作成する。	演習	グループ発表を基に自分なりの乳児保育の内容や方法を考え、一日の保育実習を設定した保育計画を作成することができる。	(予習)グループ発表内容を活かした乳児保育の一日の流れや環境構成を考え、保育計画作成の準備をする。	120	主体性 課題発見力 発信力 規律性
14	作成した保育計画の発表をグループ内で発表し、意見交換を通して、作成した保育計画を見直し、さらに乳児にとってより快適な環境や保育内容及び方法を考え、計画案に反映させる。	演習 グループディスカッション 故人発表	グループごとの個人発表における他者からの助言や意見を謙虚に受けとめ、反映させた一日の保育計画案を提出することができる。	(予習)乳児を取り巻く現代の問題についてひとつ取り上げ、グループ発表できるようにまとめる。	120	主体性 課題発見力 発信力 規律性
15	これまでの授業内容を振り返り、今後の課題を発見する。	オンデマンド配信	これまでに学修した乳児保育の基本や乳児発達過程と援助の実際について概ね説明することができる。	(予習)これまでの学修内容を見直し、理解できていない点について確認し、質問事項をまとめる。	120	主体性 課題発見力 発信力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力